

関西から国内留学で東京都国分寺市恋ヶ窪に移住したころ、妻が車の運転免許を取り、マイカーとして当時コマーシャルがはやった「お得なカローラ」を購入して、それまで JR 利用オンリーで通ったオオムラサキの郷：日野春までのチョウ採集ドライブが 7 月の定番行事となっていた。その日野春という地域はオオムラサキの目的だけで通ったのだが、時にはかわいいヒメシジミも観察でき、薄暗い樹林帯に入ればクロヒカゲモドキも普通に見ることができた。



July 24, 1977
山梨日野春
クロヒカゲモドキ
leg. M. Shimazaki

チョウ歴はもう 60 年を超えるのに、ジャノメチョウ族の地味な美しさを愛でるようになったのはそうとう後になってのことで、オオムラサキと掃除に採集したクロヒカゲモドキは今でも三角紙標本しか残っていない。

本種は兵庫県佐用町や上月町でも奈良がしわ樹林帯に生息するのを認めていたのだが、東京での約 7 年間の国内留学を終えて兵庫県の高砂市に住むようになって、久しぶりにヒッロビミドリシジミの生息地へ行った際、1972 年ころにいたはずのクロヒカゲモドキが全くいないのに首をかしげてしまう。